

道の駅は、24時間利用可能な一定水準以上のサービスを提供できる休憩施設として、平成5（1993）年、県内では「阿武町」と「萩往還公園」（「萩往還」と平成22年改称）の2カ所、全国では103カ所が登録されました。

以来現在では、全国で千カ所を超え、県内では20カ所が登録されています。

道の駅の一番のニーズは、休憩とトイレの利用ですが、道路情報や歴史、文化、観光など情報発信施設としての役割も、多くの方に評価されています。

さらに、道の駅は、地域の食材を利用した食事の提供、特産品の販売、イベントの開催、温泉などにより、幅広い利用者のニーズを満たすことで、楽しく、魅力的な場所となっています。

昨年「県内観光地」で最もにぎわったのは、萩市の「萩しーまーと」（約137万人）。第4位にも山口市の道の駅「きらら あじす」が入りました。道の駅全体の利用者は約666万人にのぼり、県内の主要な観光地として位置付けられています。

道の駅は、「鉄道に駅があるように、道路にも駅があってもいいのでは」との提案により、平成3年10月から、国道191号沿線の阿武町、田万川町（現萩市）の2カ所で、仮設の「道の駅の社会実験」が開始されたことに由来します。

山口県はこのため、岐阜、栃木県とともに道の駅発祥の地とも言えます。

今後も、沿道地域の文化、歴史、名所、特産物などを活用し、多様で個性豊かなサービスを提供することで、活力ある地域づくりや、道を介した地域連携の促進が期待されます。

道の駅利用者数ベスト5（平成24年）

順位	駅名	所在地	利用者数	特色など
1	萩しーまーと	萩市	1,370,310	市場を再現。漁港直結、新鮮な魚介類
2	きらら あじす	山口市	752,043	地元の新鮮野菜、瀬戸内海の海の幸
3	北浦街道 豊北	下関市	702,647	角島を一望できる特設展望テラス
4	螢街道西ノ市	下関市	695,962	西ノ市温泉「螢の湯」
5	仁保の郷	山口市	596,943	地元の新鮮野菜「仁保いろどり市」